



L.A. Homba
Hongwanji
Buddhist Temple
815 E. First Street
Los Angeles, CA
90012
Tel: (213)680-9130
Fax: (213)680-2210
E-mail:
info@NishiHongwanji-la.org
Website:
www.NishiHongwanji-la.org

最近の別院の写真



年末は青年活動が活発でした。10月28日、ジュニアBWAのハロウィンパーティーが催され、2月はダラススクール主催の餅つきイベントがありました。約三年ぶりのつきたてのお餅の味はいかがでしたか？総永代経法要では、BWAの皆様がちらし寿司を作り、お寿司は参拝者に振舞われました。

年頭の辞



浄土真宗本願寺派
門主 大谷 光淳

新しい年のはじめにあたり、ご挨拶申し上げます。

まず、2022年に始まったロシア連邦のウクライナ侵攻に対して、私たち念仏者は親鸞聖人がお示しくくださった「世のなか安穩なれ」のお言葉を改めて深く心に刻み、武力による他国の主権の侵害を強く非難するとともに、一刻も早くウクライナに平和が訪れることを願ってやみませ

さて、昨年も、世界では新型コロナウイルス感染症の流行が続きました。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりなられたすべての方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆様、後遺症を患われている皆様、心よりお見舞い申し上げます。また、医師や看護師をはじめとする医療従事者の方々に、ライフラインの維持に努めておられる方々に深く敬意と感謝を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行は、科学技術が発達し、医療も進歩した世の中にあっても、私たちの予想できない事柄が現実になるという事を知らしめました。仏教を説かれたお釈迦様は、この世を諸行無常であると示されました。約2500年たってもそのことに変わりはありません。そして、この真理をそのままに受け入れることができず、悩み苦しむ私たちの姿も変わることはありません。

それ故にこそ、新型コロナウイルス感染症の流行以前も以後も変わることなく、親鸞聖人が説かれた浄土真宗のみ教えが、日々悩み苦しむ私たちの生きる支えとなります。阿彌陀如来を中心とするお寺の集まりは、み教えを聞く場であると同時に、同じみ教えを依りどころとする私たちがお互いに支え合い助け合っています。安心して集うことのできる場でもあります。

皆さまには、今後も様々な工夫を凝らして、広くみ教えを伝えられることで、お寺に多くの方が集まり、その誰もが心穏やかに過ごせる場所となりますことを願っております。そして、引き続きお寺の活動にご理解とご協力を頂きますことをお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

二〇二三年一月一日

浄土真宗本願寺

門主 大谷 光淳

羅府別院理事長より



理事長
田端 パメラ

新年明けましておめでとうございます。今年はずき年です。皆様にとっても跳躍の年となる事を願っています。

西別院では本年も屋内参拝とドライブスルー形式のファンドライジングを行って頂く予定です。2月4日はサーフアンドタワーフタ食会、1月26日は盆踊りカーニバルが予定されており、両イベント共に、急遽変更がなされる場合がございますので、最新の情報をフォローして頂くと助かります。

ところで、先月号の私の記事について、一点補足と訂正をさせていただきます。それは、院号と法名は異なる称号だということです。法名を頂かれた方は、それを機縁として法事等の仏縁に預かる方が多いと思いますが、仏教式のお葬式を営まれる方は、住職から故人に法名が送られます。仏教は故人の死を仏法に気づかせて頂く機縁と捉え、仏法のみ教(のり)を有縁の人と一緒に聞かせていただく宗教であります。ですから、法名を頂かれて仏縁の輪を広げるといふのは非常に意義のあることなのです。

私は西別院とは祖父の代からご縁を頂いております。そのお陰で多くのメンバーと知り合うことができました。今は別院の理事長として、多くの仏前礼拝に出席できることを大変ありがたく思っております。仏事場で亡き方々のお名前が呼ばれるたびに、その方々が私の人生にどのような恵みを与えて下さったのかという事に想いを馳せます。

輪番はよく私たちに一期一会の意味を説いてくれます。どのような出会いも、唯の一つとして全く同じ出会いというのはありません。これまでに沢山の有り難い人たちの出会いを通じて、今の私があります。こう考えると、今までに無意味な出会いというのはありませんでした。出会ったすべての人から影響を受けて、私だけの人生が形作られていきます。私を導いて下さったあらゆる尊い出会いに深く感謝をしています。

先月の私の記事を読んで誤解されました。方にお詫び申し上げます。他にも気がなりました。がありましたら、どうぞお気軽に声掛けください。

合掌

【二月・二月のご案内】

修正会

元旦

(日)

午前十時

永代経祥月法要

一月八日

(日)

午後一時

報恩講セミナー

一月十四日

(土)

日本語 午前十時
英語 午後一時

報恩講法要

一月十五日

(日)

午前十時

役員就任式&新年会

一月二十九日

(日)

午前十時

如月忌

二月五日

(日)

午前十時

涅槃会

二月十二日

(日)

午前十時

永代経祥月法要

二月十二日

(日)

午後一時

日曜礼拝

毎週日曜日

(日)

午前十時

(別院お休み) 一月二日

*コロナウイルスの影響で突如スケジュールが変わる場合がございます。本派本願寺羅府別院

【時報案内】

- 一頁 総合
- 二頁 「この話ご存じでしたか」 & 法話
- 三頁 輪番挨拶、我孫子前輪番 往生
- 四頁 BWA会長コラム、お待ち受け法要
- 五頁 弔意・感謝録、案内他



【この話】存知でしたか 増山 栄子 翻訳・伊藤千鶴子

…本稿は、時報2022年11/12月号「この話」存知でしたか?」の続きになります。

「CYBL」へカリフォルニア青年仏教徒連盟 本派本願寺 別院時報 3月1日 1941年 サンフォード さとう 寄稿
南カリフォルニア「C」地区が行事のスポンサーですが、準備作業の矢面に立たされているのは「A」別院グループです。ここでは、いしたに のぼるが率いる有能な執行委員会と大勢の特別なイベントの委員長が出席するすべての代表者の興味を引く内容とするべく、四日間の活動を入念に計画しています。

3月26日水曜日の夜、トーマス おさまとの指揮の下、SHERのラジオ番組を皮切りに、四日間のイベントが始まりました。宗教研究、講演会、公開討論会、家庭科と農業の実地講習会、市庁舎へのパレード、英語と日本語の弁論大会、観光旅行、バスケットボール全州決勝戦、社交行事がハイライトです。日程を計画するにあたり委員会は、過去の大会代表者による活動に対する全般的な受容を基準として取り入れ、独自の構想のいくつかの斬新なタッチを追加しました。委員会はすべての代表者の希望を満たすと主張しているわけではありません。満足度は、代表者が出席する行事の雰囲気次第からです。

同胞の調和を達成するためには、同じような活動分野に関心を持つ人々と知り合うことが必要不可欠です。これらの小さな集まりの中で各自が自分の居場所を見つけた後、グループ全体を調和させることができます。調和するとは、どれだけ他人と調和できるかということです。したがって、各々の個性に任せ、より優れたものとしていく協調が必要になります。これらの代表者は写真コンテスト、ポスターコンテスト、作家組合、家庭科と農業の実地講習会、日曜学校の公開討論会、アメリカでの仏教の発展、若い仏教徒の市民生活、仏教徒社会での調和などに参加していく予定です。

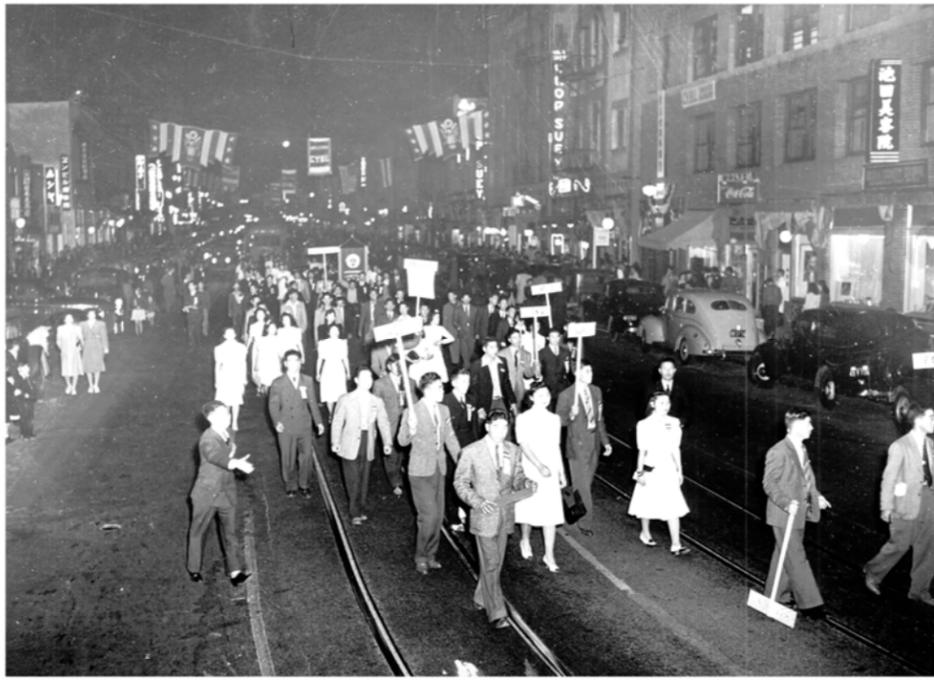


写真: 1941年3月29日CYBLロスアンゼルス市庁舎へのパレード行進 (場所 セントラルアベニューの角からLA別院方面に曲がる) 通り右側には、池田美容院、ファーイーストチョップスイカフェ、もう一軒チョップスイレストランが並ぶ。通りの奥にCYBLの垂れ幕が見える。通りを挟んだ反対側には本屋、遠くには路面電車(Pカー?)があり、サンディエゴ、メサ、エルセントロ、ブローリー、フェニックスからの代表者(明るい色のドレスを着たYWBAの女性、ジャケット/スーツを着たYMBAの男性)のパレードが、西別院RAMメンバーを先導して行進。

CYBLが職業訓練指導プログラムを作成したり、仏教病院や仏教大学を設立するなど、理想的な機能を具体的に達成することを期待した人がいたことは間違いありません。これらは私たちの能力の限界を超えていますか。もちろん、これらは長期的なプロジェクトです。しかし、そのような機構の望ましさを誰が疑うのでしょうか。これらの懸案と他の多数の議題がこれから何回も会議で議論されます。議論を通じて、現在の若い仏教徒、特に将来の仏教徒にとって強い目標が生まれるかもしれませ

Table with 3 columns: Date, Time, and Event details. It lists the schedule for the CYBL Convention from March 26-30, 1941, including events like the opening ceremony, religious studies, and various social activities.

「法味楽」味わう×楽しむ 仏教



駐在開教使 村上 響

「心の闇と真実の光」

昨年の秋ごろ、ダルマスクールの先生が私に一本のとあるアニメを薦めてくれました。聞く所によると、このアニメの制作には、昔西別院のダルマスクールに通っていた方が関わっているということ、是非、先生にも視聴して欲しいという事でした。もし内容が良かったらダルマスクールで使えるかも教えて欲しいということで、観始めたのがネットフリックスで放映されている『ONE』神々山のおなり』というアニメです。

物語は、ある山に住む日本の妖怪の様な姿をしたカミと呼ばれる者たちが集う村で進みます。雷神様のお父さんで、その娘のオナリは伝説の英雄に憧れて学校で鬼退治の仕方を学びます。クラスメイトの河童と一緒に、天狗の先生からカミが持つ力の使い方を教わりますが、オナリはまだ自分の力が分かっています。ですが、村には百年に一度鬼たちが襲来してきます。一刻と鬼の襲来が近付く中、怯えるカミたちの心に暗い影が潜み始めた時、オナリとナリドンたちはどうなってしまうのか、というお話になります。

結局、全部のエピソードを見終えた感想としては、まず映像がとても綺麗でどの描写を切り取っても美しく、それを見るだけでも一見の価値はあると思います。また、日本の民話の要素が物語の至る所に散らばっているの、日本文化に触れるという意味でも『ONE』はとても良い作品です。ですが、やはりダルマスクールで使うということになれば、物語のメッセージがどんなものか気になる所があります。



随所に日本を感じる『ONI〜神々山のおなり』(画像元: https://www.netflix.com/title/81028343)

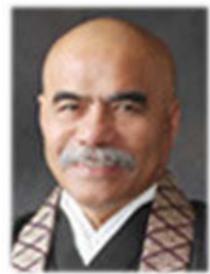
(前頁続き)、『ONI』のテーマを伝えるのにピッタリな言葉を見つけた。それが「見えないものを恐れる心の闇とそこに差し込む真実の光」です。このアニメの映像が光と闇のコントラストのバランスが絶妙で見る人の目を引くのです。実はそれが物語全体のテーマを表わしています。鬼の正体とは一体何なのか。オナリはどうやってこの鬼を退治するのか。恐怖という心の闇に落ち込んだ時こそ、本当の強さが試されるという場面で、オナリは一つの答えを出しています。それがタルマスクールに使えるポイントではないかなと思います。

さて、同様の質問を私たち自身にも投げかけてみましょう。何かの試みに挫折したり、物事が上手くいかない時は心の隙間に闇が生まれます。闇は徐々に外側へと侵食していき、それが心の表層に出てくる様になると人をねたんだり、あるいは無関係の人を恨んでしまったり、他人の不幸を願ってしまおうということに繋がるでしょう。頭の中でそれがお門違いだと分かっていたとしても、心はネガティブな感情に強く引つ張られてしまうのが心の闇の恐ろしい所です。さらにこれらの感情は人から人へと伝播し、やがては見える物全てが真つ暗闇に覆われてしまいます。そのような状況で、その人が闇の深淵に落ち込まないよう留まらせる一筋の光が、その人の持つ信念やあるいは信仰なのではないでしょうか。

歎異抄の第一帖はここから始まります。阿弥陀仏の不思議な願いに助けられて極楽往生できると信じて、お念仏を称えようと願い立った時には、必ず救い取ると誓われた阿弥陀仏の慈悲の中に既ににおさめ取られているのである、と。さらに老いも若きも、善人も悪人も、阿弥陀仏の慈悲の光は衆生を平等に照らし、信心一つでお浄土へと衆生を引き上げて下さる真実の光であるという一説から始まります。一たび心がぼつかりと闇に覆いつくされれば見る物全ては真つ暗闇です。しかし、いかなる闇においても、ご本願という阿弥陀仏

の慈悲の光が注がれていることを忘れてはいけません。衆生を愛いて、そこから引き上げようとはたらきかけて下さっている方が阿弥陀様であります。いかなる時でも仏様に願われているこの身でありまわす。弥陀の光は決してその人を暗闇に放っておくことはありません。私に寄り添う名号という智慧の光がいつも衆生の心に注がれております。合掌

本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番 ウィリアム プリオネス

年頭の御挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルスとの生活が始まってから三年が経とうとしていますが収束にはまだ時間がかかるようです。最近もロサンゼルス郡が感染者や入院患者数の再増加を報告しています。予防接種などご自分と大切な方を守るための対策に心がけ十分気をつけてお過ごしください。

新型コロナウイルス感染拡大により、別院がその門戸を閉ざしたのは二〇二〇年三月のことでした。それ以来多くの困難に直面し対処してまいりました。最も深刻な問題は経済的に別院をどう維持していくか、ということでした。お盆をはじめとした主だったファンドライジングのイベントはキャンセルを余儀なくされ、葬儀や法事も勤めることができませんでした。これらが別院に与える経済的影響は想像以上でした。幸いこの厳しい状況の中、ご門徒の皆さまからは大変多くのご寄付を賜りました。また駐車場レンタルの再開、ドライショーン、サーモン丼販売などの活動もお寺を力強く支えてくださいました。

コロナウイルスの世界的流行によってかつて経験したことのない三年間を過ごすことになりましたが、この間に成し得た活動について振り返った時、多くの方々のご支援と情熱によって別院が支えられていたことを改めて実感し、感謝の気持ちで身も心も満たされます。

私たちは普段の生活においても多くの支えを賜っているのではありません。新しい年を迎えるにあたって、今一度それらを静かに思い返し深い感謝の気持ちとともに新年を過ごしてまいりましょう。

二〇二三年も実りの多い年となることを心より念じ申し上げます。別院で皆さまと法友として過ごすことができずことは私にとっては何にも代え難い喜びです。ファンドライジングや種々の活動が別院を維持していくために大切であることは申すまでもありませんが、同時に別院が念仏の教えを賜る聞法道場であり、聞法を通して私たちの精神的成長を促す場である、ということも忘れてはいけな

私たちがこうして新年を迎えることができるということは、無量のご縁のおかげであります。その事実を目覚めるとき、その気づきが私たちの中で報恩感謝となり私たちを生き生きと生かす力となってくれるのではないのでしょうか。その目覚めこそが浄土真宗が私たち一人ひとりに願っていることではないか、と感じています。

最後になりましたが、昨年一年を通してお世話になった皆さまに重ねて御礼申し上げます。

昨年も別院ご門徒の皆さま、同朋の皆さま方にはひとかたならぬご支援を賜りました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。寺務所スタッフやボランティアの皆さまのおかげで、別院は必要な業務を滞りなく進めることができました。また顧問の役員や理事会の皆さまには多大なるご支援とご鞭撻を賜りました。村上響開教使にも心より感謝申し上げます。お念仏の教えを常に心にお寺の中心に据えながら熱意をもって開教使としての責務に取り組んでくださいました。

二〇二三年も引き続き多くの課題に直面することとなるでしょう。さらなる変化を要するかもしれません。それは別院についても、そして私たちの生活においても言えることではないでしょうか。変化は時には私たちに鼓舞し、また別の時には落胆させるかもしれません。時によって幸せを、または不幸せを感じさせることになるでしょう。また、喜びを、そして不安を私たちに与えることになるかもしれません。一つの可能性が潰え、また別の可能性の扉が開くかもしれません。私たちがその変化をどのように受け止めるかに関わらず、変わり続けていくのが私たちの現実である、ということは間違いありません。

念仏の教えを通して皆さまの日々の暮らしが報恩感謝の念に満たされまことを心より祈念いたします。本年もよろしくお祈り致します。

南無阿弥陀仏

フェンス増築事業について

先般より、西センターに通う児童と教員、訪問者や従業員とボランティアに求められる方々の安全の為、フェンスの増築が喫緊の課題でありましたが、この度\$60,000ドルの費用でフェンスの増築を施工する契約が結ばれました。当プロジェクトは以前より人材と資材不足により延期されてきましたが、日に増す周辺地域のホームレスの脅威とドラッグ関連の脅威から施設を守るため、対策を敢行した次第です。今後もセキュリティ面の強化が図られる予定になっていきます。

つきまして、別院のセキュリティ面の拡充に当たり、皆様からの募財を受け付けております。当プロジェクト宛ての募財の小切手の送り先は「Security/Fence」と記入のうえ、当院の寺務までご送付ください。皆様からのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

我孫子先生 ご往生



我孫子洋名普開教使(八十一歳)が十月六日、往生の素懐を遂げられた。我孫子先生は一九七一年にサンノゼ仏教会に開教使として赴任、その後、パロアルト仏教会(1983-2001)、サンフランシスコ仏教会(2001-2009)を歴任し、2009年から2013年まで当

ロサンゼルス別院輪番を勤められた。引退後は居を移し、サンフランシスコやセバストポリで引退生活を送っていた。我孫子先生の葬儀は教団葬として生前、師と縁のあったサンフランシスコ仏教会で十月二十七日に営まれ、原田総長が導師を勤め、同地区の現役開教使も出勤した。参列者は交流のあった開教使や門信徒が駆け付け、同葬儀はインターネット中継がなされた。

当日、当院の本堂は開放され、インターネット経由で我孫子前輪番の葬儀に参列を受け付けた。本紙では我孫子前輪番が引退時に掲載した法話を一部抜粋して、先生を偲びたいと思う。

「私達は、一人ひとり、願いをもっています。ボーイズはスポーツ選手になって大金持ちになることを願ったり、ガールズは綺麗になってステージに立てるよう願っているようで、身体の弱い方は健康になりたいと願います。これらの願いはそのことを願う人にとって、何よりも大切な願いであることは言うまでもありません。しかし、これらの願いが満たされても、直ぐに、新しい問題が出てきます。私たちの願いは、一つ一つの問題の解決を目指すのみで、すべての問題を根本から解決するようなものではありません。そこで、阿弥陀様は私たちの問題を根本から解決する願いを起して下さいます。この根本の願いを本願といえます。忙しく、次から次へと自分中心の願いに苦悩する私たちが、自分の枠に閉じこもらず広い世界にでる唯一の道は、「すべてをまかせよ!」と信じて下さる南無阿弥陀仏にまかせて、精一杯生きることです。」(もったいない、すみません、ありがたい、別院時報第29号、2013年1月1日)

写真上: サンフランシスコ仏教の本堂。多くの参列者が駆け付けた。お香をくべるため、出勤者が最前列で並んでいる。写真下: 西別院の本堂からも葬儀に参列した。



南部教区お待ち受け法要勤修

十月三十日、ガデーナ仏教会に於いて南部教区親鸞聖人御誕生85周年及び立教開宗800年お待ち受け法要が勤修されました。来年ご本山でお迎えされる慶讃法要のお待ち受けとして同法要が立案され、COVIDのパンデミック以降では、最大規模の南部教区合同での行事となりました。原田BCA総長がご導師を勤められ、全南部教区開教使と開教使補及びMinister's Assistantが一堂に集り、延べ350名（Zoom接続を含む）の念仏者が同法要を参拝しました。



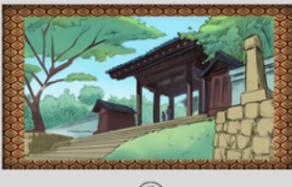
法要の司会進行係はウエスト本願寺の梅津開教使補が勤められ、法要の冒頭では親鸞聖人のご生涯を自作のスタイルを使って解説しました。洗心からは「name」が雅楽の楽奏の為駆けつけ、法要に雅楽の音楽を荘厳してもらいました。お勤めは正信念仏偈作法第二種から十二礼の正信偈をお勤めし、その後、大谷光淳御門主様の御消息が日本語と英語で伝達されました。御消息の後、原田総長とガデーナ駐在の庵原開教使よりご法話を頂戴し、最後にプロレジデントのオモリテリー氏がご法話を頂戴し、最後にお待ち受け法要は締めくくられました。

まだCOVIDの余波が懸念される状況下でしたが、屋内のマスク着用など感染防止に努め、遠近各地より多くの念仏者が集まり、予定されていた内容はすべて勤修されました。また、今年の夏、浄土真宗センターで行われた教師教習を終えたばかりの先生方の紹介、パークレーで研修したMCOの開教使候補の先生方も出席され、引退開教使の先生方にもご出席頂いたことで、節目を迎えるに相応しいの慶讃法要となりました。

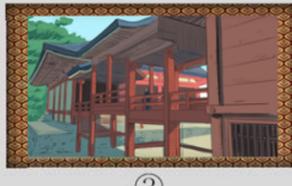
写真上：原田総長が登壇を勤め、お内陣には高田開教使（南部教区開教使会局長）、庵原開教使（ガデーナ駐在）プリオネス開教使（西別院輪番）が出勤。写真左：梅津開教使補（WMA本願寺所屬）は、庵原氏と共に同オリジナルのスタイルを作成し、親鸞聖人のご生涯を解説した。



①



②



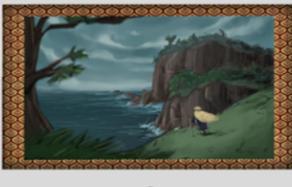
③



④



⑤



⑥

- ①宗祖ご誕生
- ②青蓮院ご出家
- ③比叡山修行
- ④六角堂夢告
- ⑤吉崎訪問
- ⑥越後流罪
- ⑦関東伝道
- ⑧親鸞の由来
- ⑨教行信証執筆



⑦



⑧



⑨



本堂という言葉の響き BWA会長 川上ジーン

新年あけましておめでとうございます。“ホッピー”な気持ちで卯年を迎えるにあたって、西BWAでは、2月5日のBWAメモリアルサービス（如月忌）に向けて準備を始めています。早いもので、昨年の如月忌から一年が過ぎました。日常生活を送っているどふとした時に、愛する人や亡くなった友人が何日も何年も経った後、突然、私たちの中で蘇る瞬間があります。如月忌で大切な方のお写真が飾られますと、在りし日の思い出が火花が散るような頭の中をパッと巡る瞬間があるのです。誰でもこのような経験はあるのではないのでしょうか。

一つ質問をします。ある一枚の絵に単語100語分の情報含まれているとしたら、その100語分の1単語の価値はいかばかりでしょうか。例えば、「キッチン」と聞くと、冷蔵庫を思い浮かべ人もいれば、好きな食べ物の匂いが浮かんでくる人もいます。感情についてはどうでしょうか。「仕方がない」という言葉を聞いてどんな気持ちになりますか。周囲が思い通りにコントロールされていないことにため息をつく人がいるでしょう。日本語にはある感情を大きな確率に譬えたり、大きいでも小さいでもない真ん中くらいの気持ちを表せる言葉があります。いわゆる、わびさび・中々・なつかしい・こもれび等がその例です。これらの単語を英語に置き換えて説明しようとする一語では言葉が足りず、きちんと説明する為にある程度単語を足さなければ上手く説明ができません。

こういった多義的なニュアンスを持つ言葉は日常に溢れています。複雑な感情が一気に溢れてくる単語を一つ上げるとすれば、それは私にとって「本堂」がそうです。本堂と聞くと、最初にお香の匂いと温かい光を思い浮かべます。そして、心地よいお堂の静けさがあったかと思えば、それを切り裂く喚鐘の音と、喚鐘が切り裂いた後の隙間を埋めるように先生たちの読経の音が響いてきます。本堂に足を踏み入れる時は、世間の心配事は持ち込みません。そうして、落ち着いた心で座布団に座ると、両親やこれまでご縁のあった人たちの事が記憶に蘇ります。長年、別院の本堂で日曜礼拝に参加し続けて、私は今「本堂」という言葉を聞くだけで、これらすべての感情が瞬時にあらわれてきます。本堂という言葉の響きにこんな力があるなんて思いませんでした。読者の皆さんにとって、たった一言であらゆる感情を想起させる言葉は何ですか。

願わくば、今年一同が本堂に集って仏法を聞き、感謝と仏様におまかせする気持ちを共に味わいたいと願っています。そこには友達がいって、大切な人との思い出があり、仏教の三宝が響いています。

ABAは結成から25周年！ これからもよろしくお祈りします！！



開教使候補生のお二人が来院されました。渡米、待っています。



宮川エイミーさんを偲ぶ BWA会長 川上ジーン

「エイミーさんとの思い出は？」こう聞かれた時、読者の皆さんなら何を思い出しますか。昨年9月5日、宮川さんは85歳でお浄土に旅立たれました。彼女を何十年も前から知っている人にとって、思い出の数は無数でしょう。皆さんの記憶に映る彼女の面影は、愛嬌のある優しいおばあちゃんの顔と温かい笑顔でしょうか。それとも美しい字ですか。彼女のフォントをMicrosoftで作成して、Behan Angus Fontと名づけても差し支えないほど綺麗な筆跡でした。別院の会員カードに書かれている文字は、2021年まで宮川さんが手書きされたものです。

2000年代の当時を思い出せる方は、今となっては珍しいかもしれません。ですが、宮川さんの子供たちは、今から20年もの昔の日曜日をご一緒していたのかをはっきりと覚えていらつしやるそうです。当時、すでに西別院で事務作業のボランティアをしていた宮川さんは、日曜礼拝の集いが終わってからも、ずっとお寺に残り作業をしていました。宮川さんの子供たちはそれが終わるまで辛抱強く待っていたそうです。これを聞いて、一体いつ宮川さんが西別院でボランティアを始めたのか疑問に思いましたが、残念ながら、とうとうその謎が明かされることはありません。

宮川さんにはできないことは何もありませんでした。議事録の速記、PTAの会長、BWAの会長、会計係、ディズニランドのシャペロン、みんなのおばあちゃん。そうそう、あとキングオブホラーのトークショーの特別ゲストに招待されて、ザ・フライとハウスオブワックスのスター俳優、ワインセントフライス氏の前で着物を着た宮川さんが、彼に折り紙の折り方を教えたことがあるのをご存じでしたか。念のため、その証拠の写真をこの記事に掲載しておきます。

昨年私たちは、最愛の友人であり、私たちの先駆者であり、優れたリーダーであり、身近な歴史家であり、誰よりも聡明かつ誠実に親しみやすく、頼りになるお寺のボランティアを失いました。彼女は小さなおばあちゃんでしたが、残した足跡は巨人の歩みです。これまで多くの刺激を後輩である私たちに与えてくれました。誰が彼女の様になることができるでしょうか。宮川さんはいつも「I am still here」という言葉をモットーにされていますが、今思えばそれは「人生はお陰様ですよ」ということを語ってくれたのかもしれません。宮川さんの生き方は、私たちのお手本です。私たちが彼女のように、生き甲斐を見つけて、毎日を豊かに過ごしたいものです。宮川エイミーさんは、これからも私たちを引っ張っていつてくれる存在であり続けます。合掌



西別院 2023年度 行事表

- 1月1日 修正会
1月2日 別院お休み
1月8日 永代経祥月法要
1月14日 報恩講セミナー
1月15日 御正忌報恩講法要
1月29日 別院役員就任式&新会員歓迎会、新年会
- 2月5日 婦人会如月忌、先亡者追悼法要
2月12日 涅槃会 永代経祥月法要
- 3月7日 募財サーフ&ターフ食会
3月12日 ガールスカウト日曜礼拝 永代経祥月法要
3月18日 春季彼岸セミナー
3月19日 春季彼岸会、輪番忌
3月26日 蓮如忌
- 4月2日 別院花祭り
4月9日 仏連花祭り 永代経祥月法要
- 5月14日 母の日の集い 永代経祥月法要
5月21日 宗祖降誕会、初参り
5月21日 メモリアルデー墓参り
- 6月11日 永代経祥月法要
6月18日 父の日の集い
6月25日 日曜学校卒業式
- 7月4日 独立記念日 別院お休み
7月8、9日 盆祭り&お盆踊り
7月15日 初盆会
7月16日 盂蘭盆会、墓参り 永代経祥月法要
- 8月6日 戦没者追悼法要
8月13日 永代経祥月法要
- 9月4日 労働の日 別院お休み
9月10日 日曜学校新学期 永代経祥月法要
9月16日 秋季彼岸セミナー
9月17日 秋季彼岸会
- 10月1日 恵信尼・覚信尼追悼会
10月8日 永代経祥月法要
- 11月5日 総会
11月12日 永代経祥月法要
11月19日 総永代経法要
11月23、24日 感謝祭 別院お休み
- 12月3日 年末大掃除
12月10日 成道会 永代経祥月法要
12月17日 お歳暮大会感謝祭
12月24、25日 別院お休み
12月31日 除夜会

上記のスケジュールは変更される場合がございます。現在、コロナウイルスの影響で、勤行はZoomを併用して行っておりますが、場合によっては屋内のみの場合もございます事をご了承ください。